

2018 年京大文 [2]

(1)

座標平面において、 $A(0,0), B(1,0), C(1,1), D(0,1)$ とする。

直線 AP の式を $y = mx$ ($0 < m < 1$)とすると、 $P(1,m)$ となる。

AP の中点は $(\frac{1}{2}, \frac{m}{2})$ であるから、 AP の垂直二等分線の方程式は

$$y = -\frac{1}{m}\left(x - \frac{1}{2}\right) + \frac{m}{2} = -\frac{1}{m}\left(x - \frac{1+m^2}{2}\right)$$

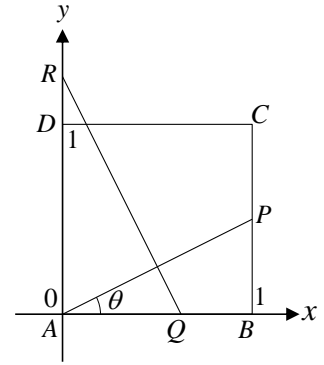
Q, R はそれぞれ x 軸、 y 軸との交点であるから $\therefore Q\left(\frac{1+m^2}{2}, 0\right), R\left(0, \frac{1+m^2}{2m}\right)$

$$\therefore QR^2 = AQ^2 + AR^2 = \left(\frac{1+m^2}{2}\right)^2 \left(1 + \frac{1}{m^2}\right) = \frac{(1+m^2)^3}{4m^2} \quad \therefore QR = \frac{(1+m^2)^{\frac{3}{2}}}{2m}$$

ここで、 $\angle BAP = \theta$ とすると、 $m = \tan \theta$ であるから

$$1 + m^2 = 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad \therefore QR = \frac{1}{2 \tan \theta \cos^3 \theta} = \frac{1}{2 \sin \theta \cos^2 \theta} = \frac{1}{2 \sin \theta (1 - \sin^2 \theta)}$$

以上により $\therefore QR = \frac{1}{2 \sin \angle BAP (1 - \sin^2 \angle BAP)}$ …… (答)



(2)

$0 < \theta < \frac{\pi}{4}$ であるから、 $0 < \sin \theta < \frac{1}{\sqrt{2}}$ である。

$f(t) = 2t(1 - t^2)$ として、 $0 < t < \frac{1}{\sqrt{2}}$ の範囲で増減を調べる。 $f'(t) = 2(1 - 3t^2) = 6\left(\frac{1}{\sqrt{3}} + t\right)\left(\frac{1}{\sqrt{3}} - t\right)$

増減は右の通りで、 $t = \frac{1}{\sqrt{3}}$ において極大となる。

$$f\left(\frac{1}{\sqrt{3}}\right) = \frac{2}{\sqrt{3}}\left(1 - \frac{1}{3}\right) = \frac{4}{3\sqrt{3}}$$

t	0	...	$\frac{1}{\sqrt{3}}$...	$\frac{1}{\sqrt{2}}$
$f'(t)$		+	0	-	
$f(t)$		↗		↘	

QR は $f(t)$ が最大のとき最小となるから、求める最小値は

$$\therefore \frac{3\sqrt{3}}{4} \dots\dots (答)$$